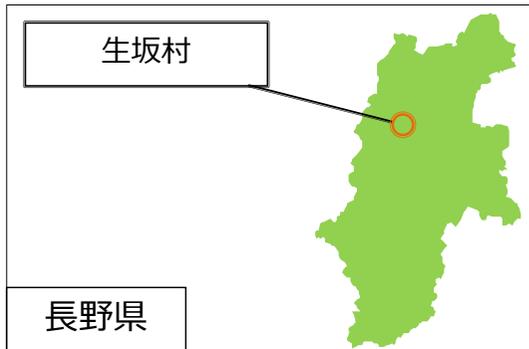


## 取組のポイント

- ◆道の駅「いくさかの郷」を核としてブドウに次ぐ特産物の開発、多様な地域の素材を活用した6次産業化の推進等の農業振興を実践
- ◆生坂村の豊かな自然や風土等の観光資源を生かした取組みや情報発信等PRに努め、コロナ禍における行動の制約の中で、農産物の販売額の増加、人材育成、さらには新規就農者の定住に繋がるよう地域振興策を図った

## 地区の概要

- ◆位置  
長野県生坂村



- ◆活用した地域資源  
自然、風土、農産物（ブドウ、ハチク、小麦など）
- ◆事業実施主体  
生坂村農林水産物生産者組合
- ◆主な取組団体等  
おじさま倶楽部、生坂ハチクの会、お父さん頑張る会、女・人竹っこくらぶ、生坂村区長会、生坂村農業公社、道の駅いくさかの郷等
- ◆事業実施期間  
R2～R4

## 取組の特色

### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆生坂産の郷土食・伝統食について経験豊富な高齢者や女性のノウハウを最大限に活用し、ハチクや粉ものなどの特産品開発等を実施
- ◆首都圏の女子大学との連携により、テイクアウトメニューを開発するなど付加価値向上等を推進した。



【特産品開発の取り組み】



【首都圏大学との連携による商品ラベル開発】

### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆「ちょっとそこまで。いくさかの郷」を合言葉に農産物直売所や開発商品を身近に感じてもらえるPR動画を作成するとともに、長野県内テレビ局や新聞社等を活用し、積極的な情報発信を行った。これにより直売所の利用者や売上の増加に繋がり、生産者の意欲向上も図られた



【積極的な情報発信】



【利用者で賑わう農産物直売所】

## 取組の成果

- ◆道の駅いくさかの郷農産物販売額21,025千円（R1実績）→52,817千円（R4実績）
- ◆新規就農戸数（累計） 20戸（R1実績） → 26戸（R4実績）